2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

株式会社髙松コンストラクショングループ
証券コード：1762
2026年11月11日

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

目次

1. 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算 ・・・・ 2

2. 2027年3月期 業績予想・配当予想・・・・・・・ 22

3. トピックス ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算

企業集団の状況

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	髙松建設		東京・大阪・名古屋
	髙松テクノサービス		大阪・東京
		髙松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
		Takamatsu Philippine Corporation	フィリピン
青木あすなろ建設			国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		タカマツハウス不動産	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		髙松都市開発	東京・大阪
		髙松CG USA	アメリカ
髙松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

2027年3月期 第2四半期（中間期）業績推移

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

◆ すべての項目で前年同期比増となり、受注高、売上高、営業利益、経常利益は第2四半期として過去最高。親会社株主帰属中間純利益は81億円となった。

（億円）

項目	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	2027/3期 2Q	増減率
受注高	1,635	1,927	1,891	2,306	+21.9%
売上高	1,432	1,621	1,709	1,885	+10.3%
売上総利益	192	191	257	316	+22.6%
売上総利益率	13.4%	11.8%	15.1%	16.8%	+1.7pt
営業利益	33	25	78	127	+62.4%
営業利益率	2.3%	1.6%	4.6%	6.8%	+2.2pt
経常利益	34	21	77	124	+60.0%
経常利益率	2.4%	1.3%	4.5%	6.6%	+2.1pt
親会社株主帰属中間純利益	11	5	44	81	+82.0%
中間純利益率	0.8%	0.3%	2.6%	4.3%	+1.7pt

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

2027年3月期配当予想　増配（配当額・配当性向）

◆2027年3月期の連結純利益見通しを、5月の公表値125億円から150億円と25億円上方修正。

◆これにより、2027年3月期の1株当たり年間配当金額は、5月に公表した144円から26円増配の170円、配当性向は39.5%を予定。

	見通し	修正	増配額
2027年3月期	144円	170円	**+26円**

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

2027年3月期 第2四半期（中間期）および通期業績のポイント

つながる力を、創り出す力に。 TAKAMATSU GROUP

2027年3月期 第2四半期業績	**受注高**	受注高は前年同期比+21.9%。 建築＋32.1%、土木＋12.4%、不動産＋9.8%と、すべてのセグメントで増加。 建築は、青木あすなろ建設におけるデータセンターの大型工事受注が寄与した。 土木は、青木あすなろ建設、東興ジオテックが着実に受注を積み上げた。 不動産は、タカマツハウスにおいて東京23区での需要が強く、受注をけん引した。 また、通期見通しを公表値の4,500億円から4,700億円へ上方修正した。
	売上高	売上高は前年同期比＋10.3%。 建築＋4.7%、土木+4.3%、不動産＋28.6%。 建築および土木は着実に出来高を積み上げた。 不動産はタカマツハウスが販売好調によりけん引し、大幅に増加した。 また、通期見通しを公表値の4,000億円から4,100億円に上方修正した。
	営業利益	営業利益は前年同期比＋62.4%と大幅増。 建築＋44.6%、土木＋0.7%、不動産は前年同期比2.1倍と、建築および不動産で大幅に増加し、全体をけん引した。 建築は、主に青木あすなろ建設における売上高および売上総利益額の増加と販管費の減少により、大幅に増加した。 不動産は、タカマツハウスで好採算案件の販売が好調だったことにより大幅に増加した。 また、通期見通しを公表値の200億円から240億円へ上方修正した。
株主還元		親会社株主帰属中間純利益は前年同期比+82.0%となり、通期見通しを公表値の125億円から150億円に上方修正した。 これにより、配当は5月公表値の1株当たり年間144円から26円増配の1株当たり170円を予定。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

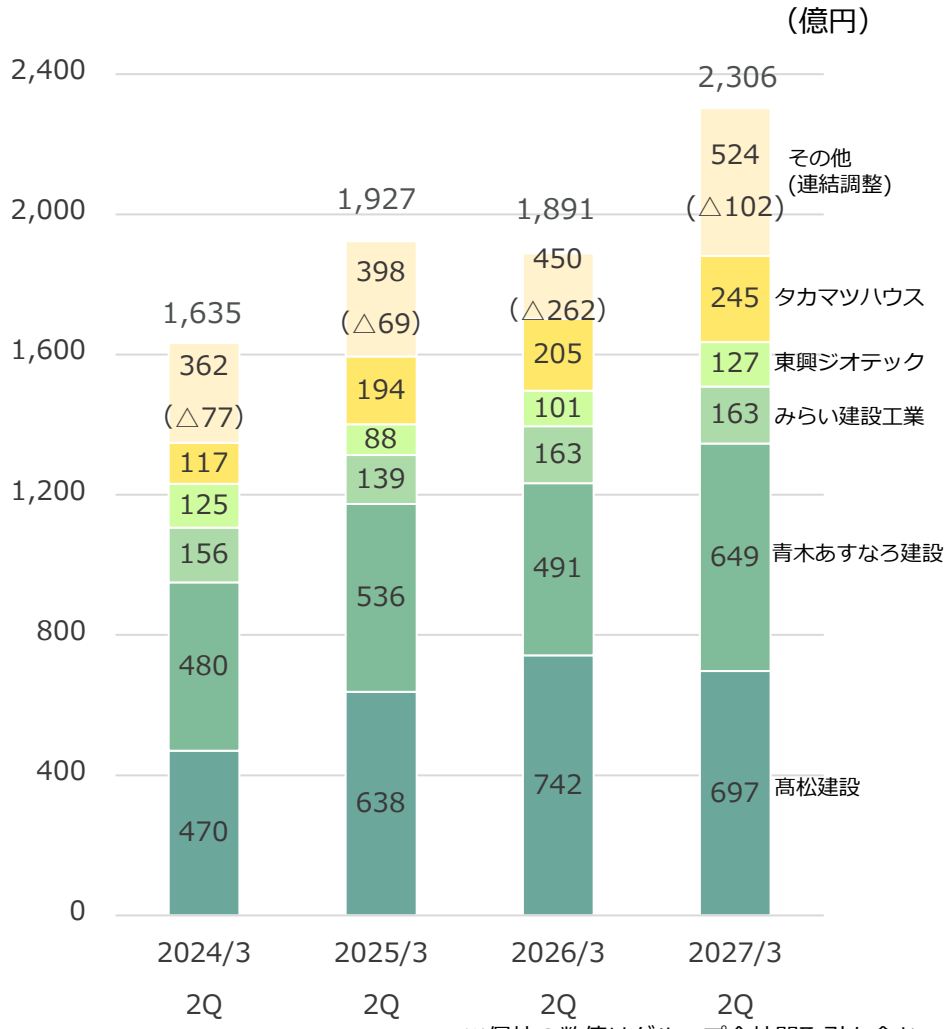
中核事業会社別 受注高

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

◆ 髙松建設は前年同期比△6.0%（詳細次ページ）。青木あすなろ建設は主に大型データセンターの受注により前年同期比+32.3%と大幅増。みらい建設工業は前年同期比+0.4%。東興ジオテックは第1四半期の積み上げと同社として大型の案件受注により前年同期比+26.1%。タカマツハウスは販売好調により前年同期比+19.2%。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+16.4%。

（百万円）

会社別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
髙松建設（単体）	47,017	63,838	74,200	69,760
青木あすなろ建設（単体）	48,079	53,697	49,104	64,955
みらい建設工業（単体）	15,669	13,995	16,303	16,367
東興ジオテック（単体）	12,566	8,809	10,150	12,795
タカマツハウス（単体）	11,724	19,477	20,593	24,542
その他グループ会社	36,272	39,853	45,056	52,429
連結調整	△7,737	△6,955	△26,259	△10,220
連結合計	163,590	192,714	189,147	230,628



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

髙松建設 セグメント別受注高

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

- 共同住宅は、大阪で前年同期比41億円増加したものの、東京で前年同期比68億円減少し、髙松建設全体で前年同期比27億円減少した。ただし、前年の第2四半期の受注高には、7月の髙松都市開発設立に伴う髙松建設の分譲事業移管により、髙松建設と髙松都市開発間の受発注として、大阪約69億円、東京約131億円、計約200億円の受注高が含まれている。なお、グループ会社間取引となるため連結の受注高には影響しない。
- 一般建築は、大阪で前年同期比51億円増加し、東京で前年同期比55億円減少したため、髙松建設全体では3億円の減少となった。

セグメント別 受注高　（百万円）

		大阪				東京			
		2026/3 2Q	構成比	2027/3 2Q	構成比	2026/3 2Q	構成比	2027/3 2Q	構成比
建築	共同住宅	10,753	44.8%	14,859	47.2%	28,763	57.3%	21,884	57.1%
建築	一般建築	10,643	44.3%	15,781	50.2%	20,341	40.5%	14,818	38.7%
不動産		2,602	10.8%	822	2.6%	1,098	2.2%	1,596	4.2%
合計		23,998	100%	31,462	100%	50,202	100%	38,298	100%

※数値はグループ会社間取引を含む。構成比は小数点以下第二位四捨五入。

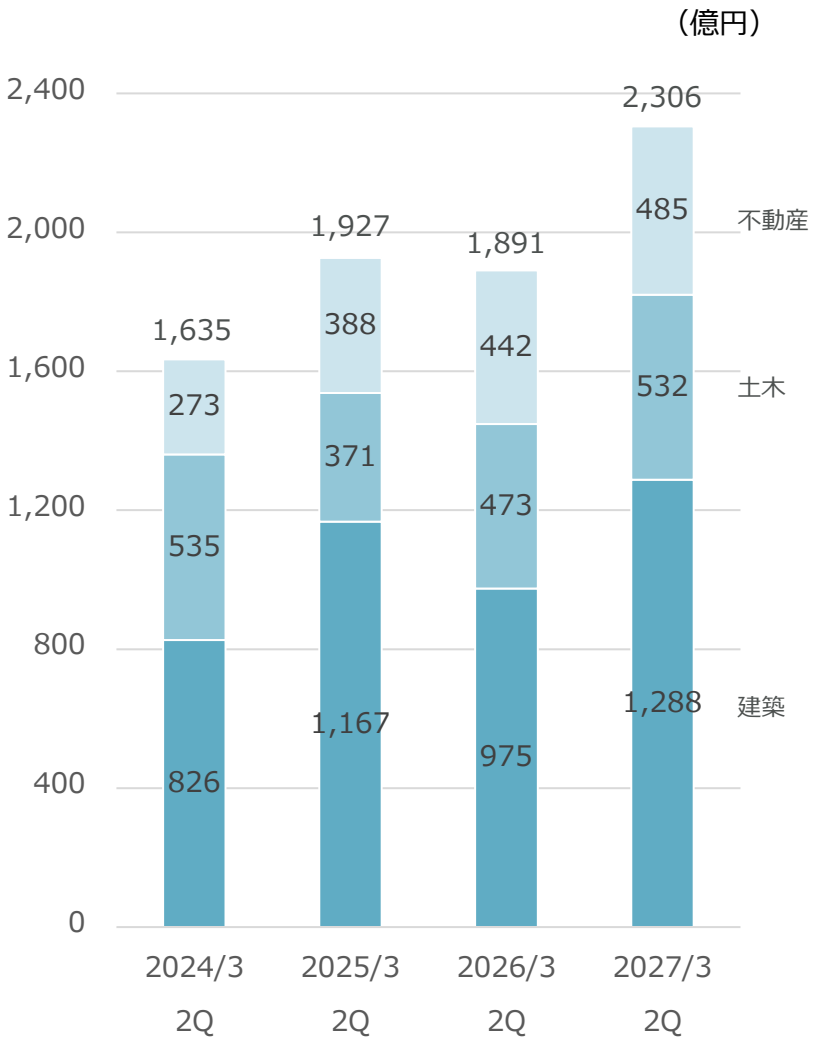
©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 受注高

◆ 建築は髙松建設（連結調整後の前年同期比較）と青木あすなろ建設で大幅に増加し前年同期比+32.1%。
土木は青木あすなろ建設と東興ジオテックで増加し前年同期比+12.4%。不動産は前年同期比+9.8%。

（百万円）

セグメント別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
建築	82,643	116,726	97,548	128,821
土木	53,594	37,107	47,376	53,269
不動産	27,352	38,880	44,221	48,537
連結合計	163,590	192,714	189,147	230,628



©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 次期繰越高

◆ 髙松建設は前期からの繰越高が豊富であったことから前年同期比+11.1%。青木あすなろ建設は受注高が大幅に増加し前年同期比+30.2%。みらい建設工業は前期からの繰越高が豊富であったことから前年同期比+22.1%。東興ジオテックは主に受注高の増加により前年同期比+7.9%。タカマツハウスは前年同期比+24.1%。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+14.5%。

（百万円）

会社別		2026/3 2Q	2027/3 2Q	増減額	増減率
髙松建設（単体）		250,381	278,148	27,767	+11.1%
青木あすなろ建設（単体）	建築	125,563	166,913	41,350	+32.9%
	土木	55,055	68,197	13,142	+23.9%
	合計	180,618	235,110	54,492	+30.2%
みらい建設工業（単体）		42,441	51,836	9,395	+22.1%
東興ジオテック（単体）		13,661	14,738	1,077	+7.9%
タカマツハウス（単体）		5,352	6,643	1,291	+24.1%
その他グループ会社		25,953	29,720	3,767	+14.5%
連結調整		△19,094	△14,655	4,439	―
連結合計		499,312	601,540	102,228	+20.5%

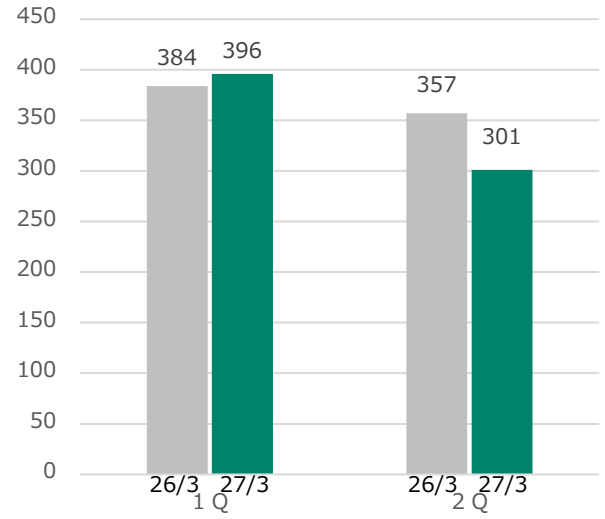
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

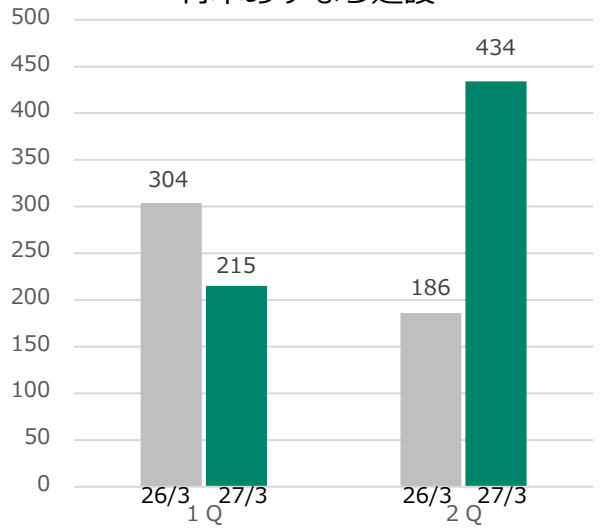
中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

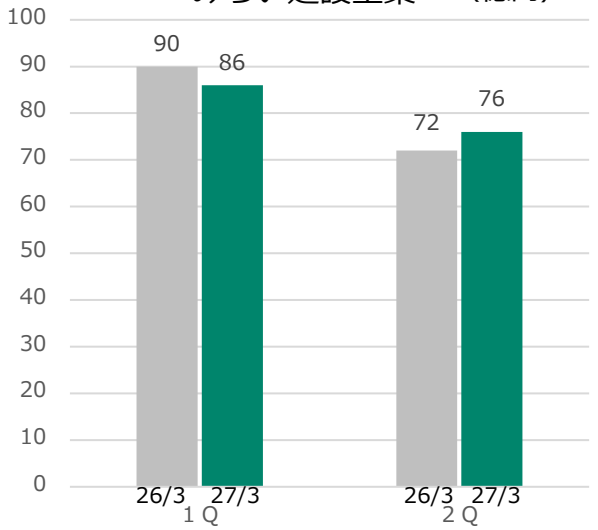
髙松建設



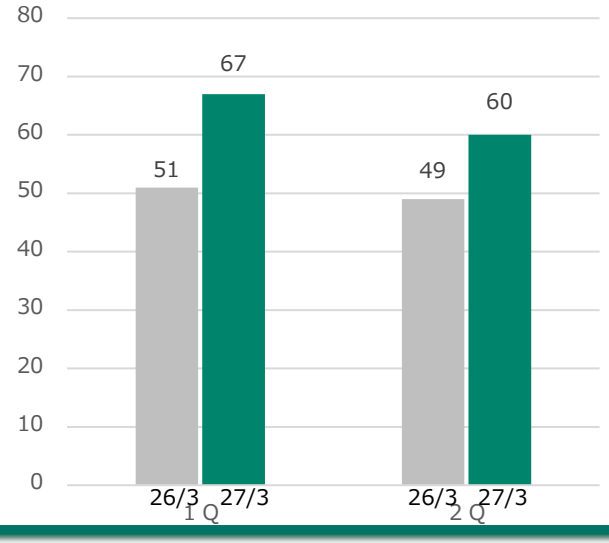
青木あすなろ建設



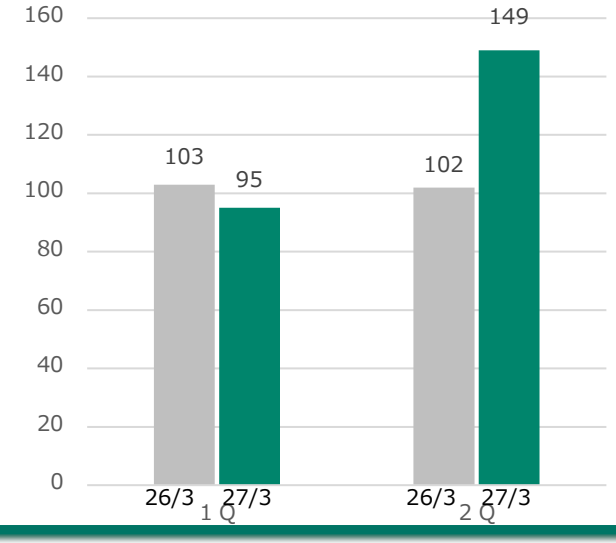
みらい建設工業 （億円）



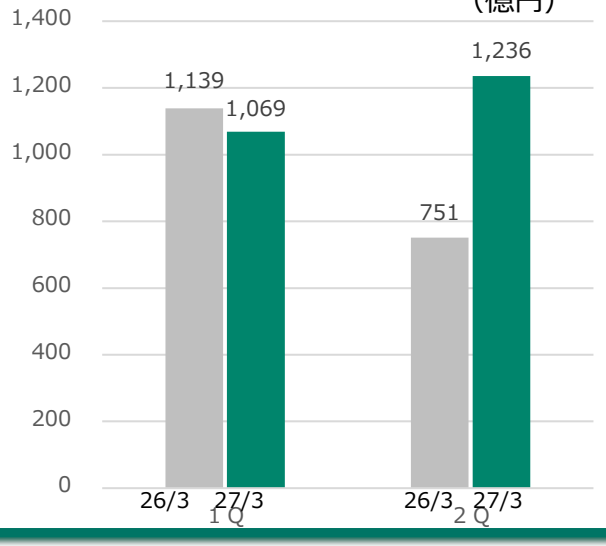
東興ジオテック



タカマツハウス



連結合計 （億円）



※個社の数値はグループ会社間取引を含む

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別 売上高

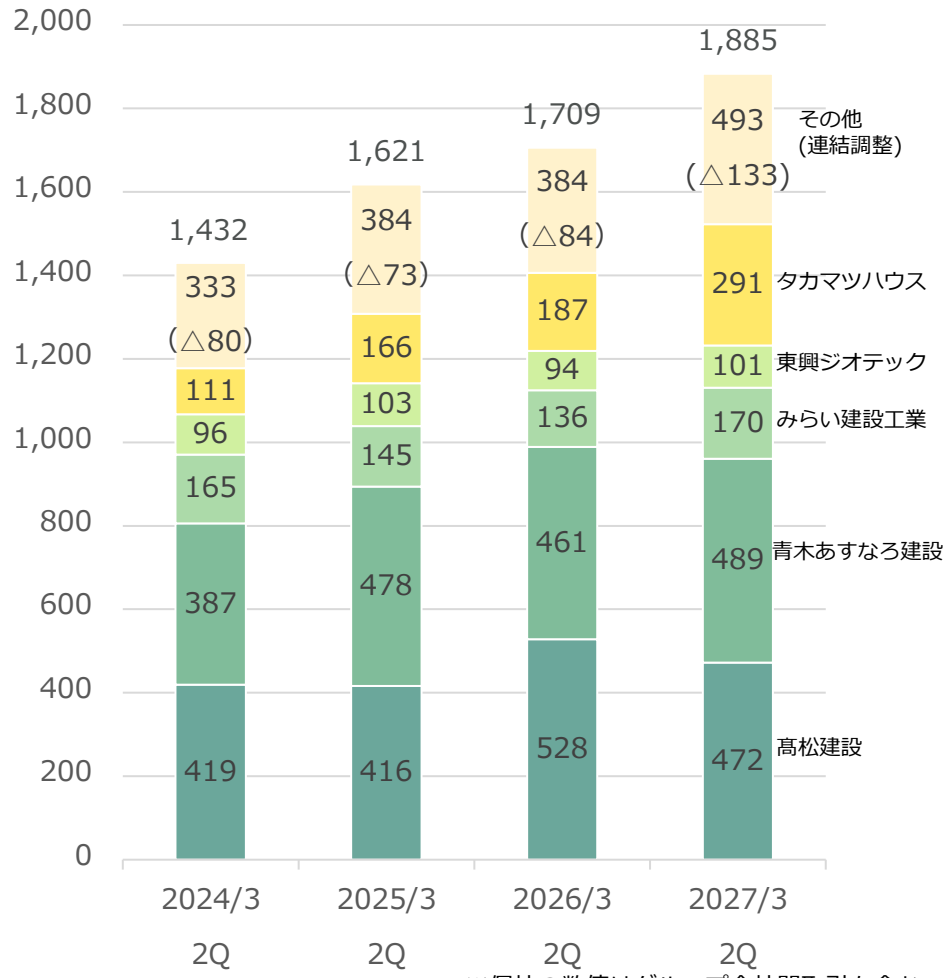
つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

◆ 髙松建設は好調だった前年同期と比較すると減少し前年同期比△10.7%。青木あすなろ建設は前年同期比+5.9%。みらい建設工業は不調だった前年同期と比較すると増加し前年同期比+25.5%。東興ジオテックは前年同期比+7.7%。タカマツハウスは都心部における好立地案件の仕入により販売単価が上昇し、販売も好調であったことから前年同期比+55.4%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+28.5%。

（百万円）

会社別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
髙松建設（単体）	41,928	41,654	52,870	47,215
青木あすなろ建設（単体）	38,780	47,856	46,196	48,935
みらい建設工業（単体）	16,559	14,580	13,619	17,097
東興ジオテック（単体）	9,628	10,365	9,444	10,167
タカマツハウス（単体）	11,193	16,633	18,773	29,166
その他グループ会社	33,309	38,414	38,418	49,372
連結調整	△8,099	△7,369	△8,408	△13,363
連結合計	143,298	162,133	170,912	188,589

（億円）



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 売上高

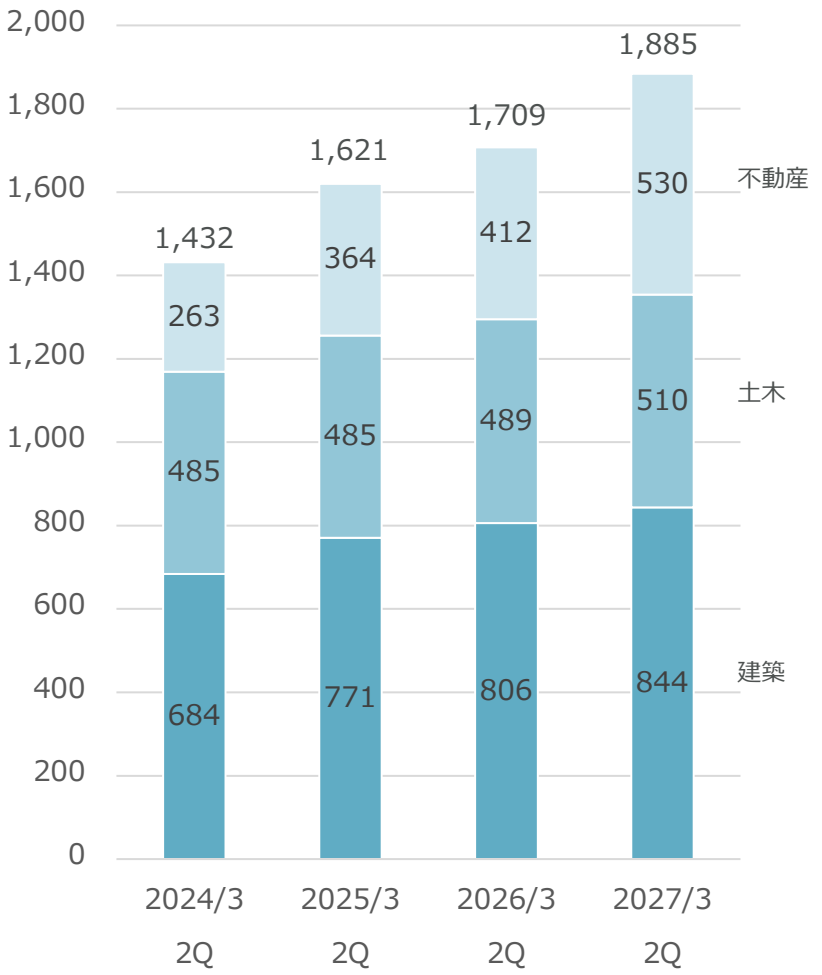
つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

◆ 建築は髙松建設で減少も青木あすなろ建設で増加し前年同期比+4.7%。土木は前年同期比+4.3%。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比+28.6%と大幅増。

（百万円）

セグメント別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
建築	68,486	77,105	80,691	84,481
土木	48,505	48,533	48,922	51,009
不動産	26,307	36,493	41,298	53,098
連結合計	143,298	162,133	170,912	188,589

（億円）



©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

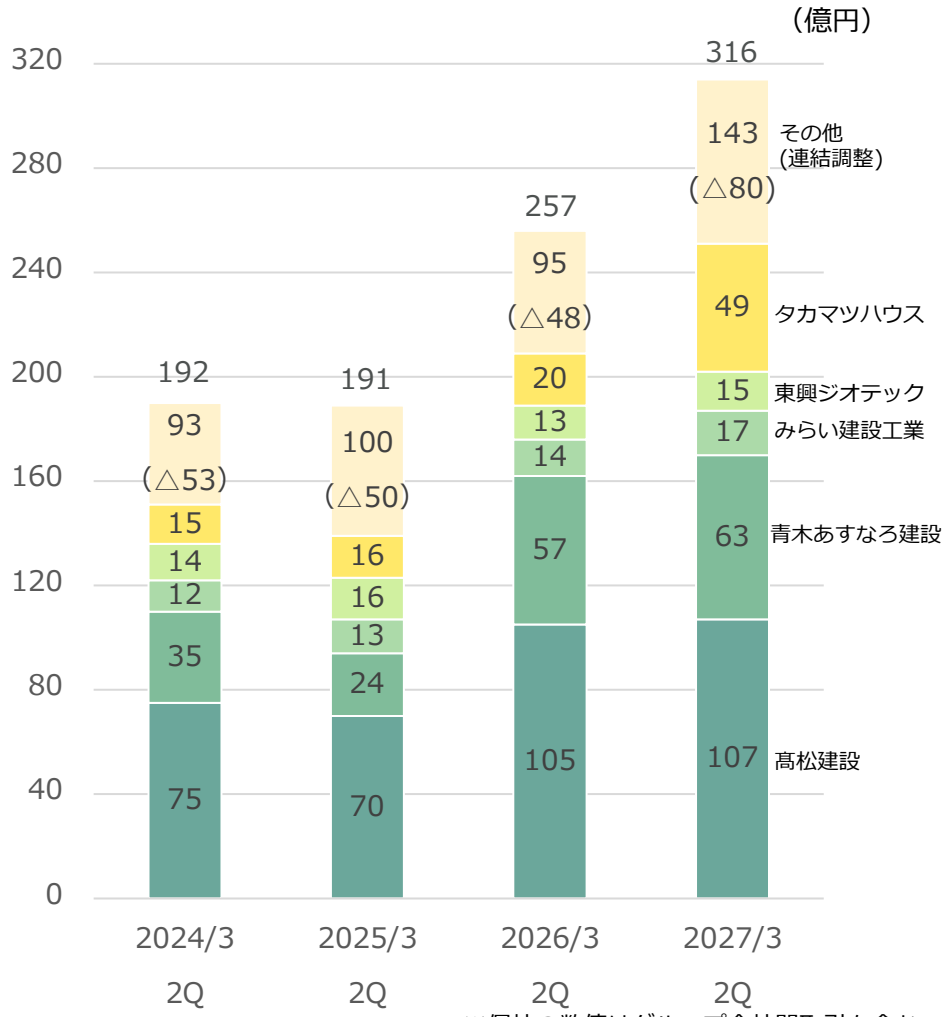
中核事業会社別 売上総利益

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

◆ 髙松建設は売上高は減少したものの売上総利益率は上昇し前年同期比+2.4%。青木あすなろ建設は第1四半期からの積み上げもあり前年同期比+10.9%。みらい建設工業は売上高の増加により前年同期比+16.6%。東興ジオテックは前年同期比+16.5%。タカマツハウスは在庫調整局面であった前年同期と比較し採算のいい案件の売上高が増加し、前年同期比2.3倍と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比+51.0%。

（百万円）

会社別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
髙松建設（単体）	7,508	7,029	10,500	10,754
青木あすなろ建設（単体）	3,521	2,424	5,706	6,326
みらい建設工業（単体）	1,258	1,368	1,481	1,727
東興ジオテック（単体）	1,478	1,606	1,319	1,537
タカマツハウス（単体）	1,505	1,663	2,073	4,955
その他グループ会社	9,338	10,074	9,515	14,370
連結調整	△5,374	△5,064	△4,808	△8,065
連結合計	19,234	19,100	25,786	31,604



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

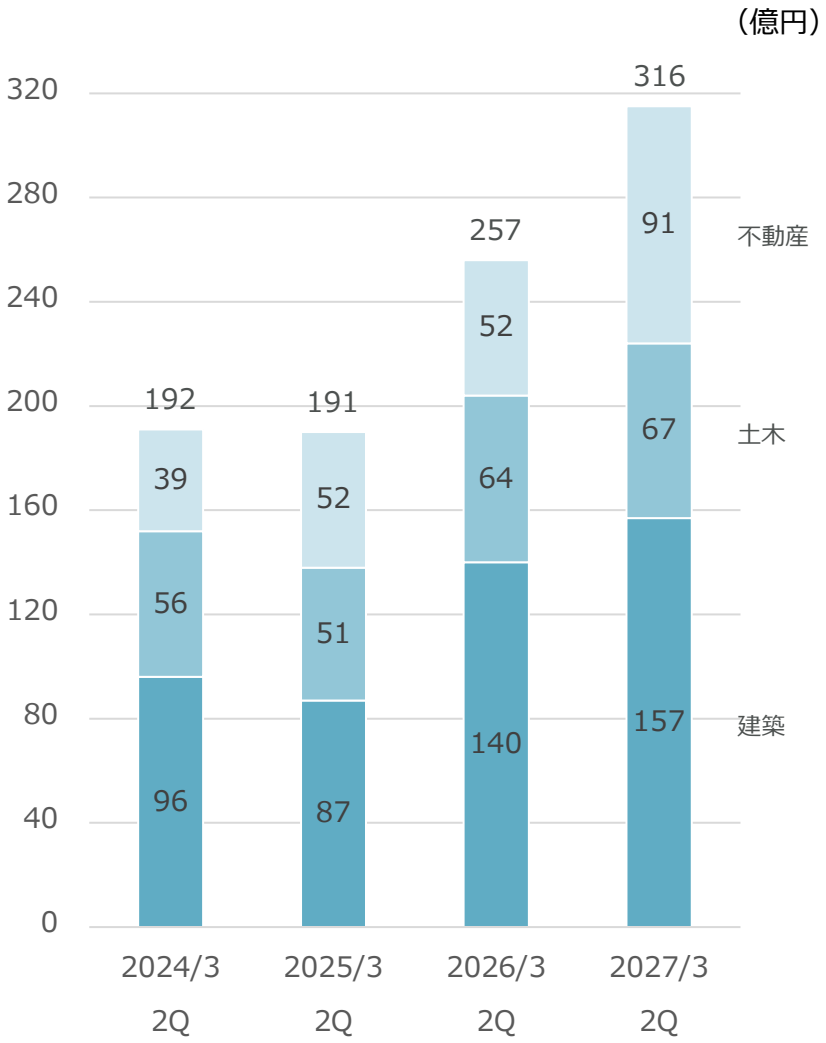
©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 売上総利益

◆ 建築は主に青木あすなろ建設で増加し前年同期比+12.4%。土木は前年同期比+3.8%。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比+72.7%と大幅増。

（百万円）

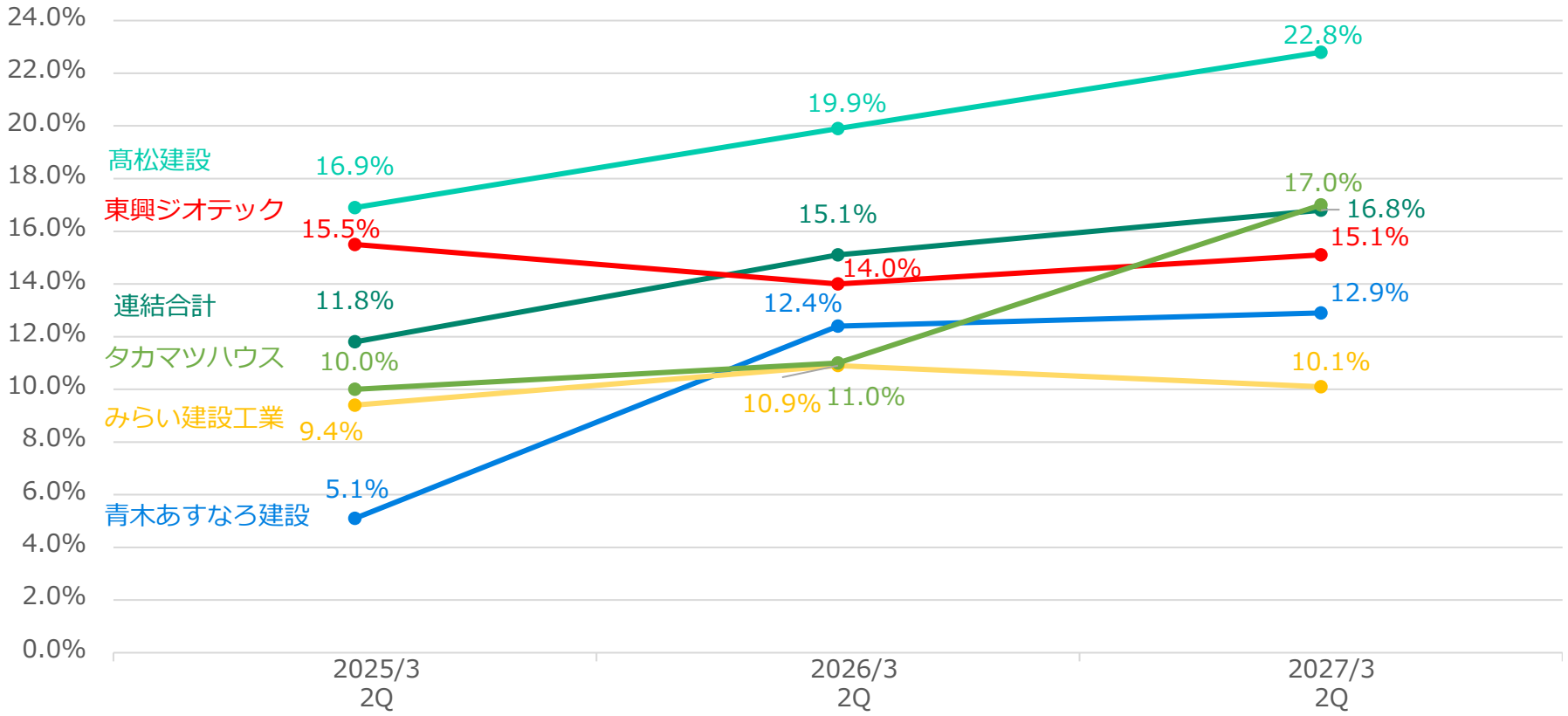
セグメント別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
建築	9,657	8,719	14,019	15,755
土木	5,644	5,135	6,485	6,730
不動産	3,931	5,245	5,280	9,119
連結合計	19,234	19,100	25,786	31,604



©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の売上総利益率

- 髙松建設は売上総利益額の増加により前年同期比+2.9ptと大幅に上昇。
- 青木あすなろ建設は前年同期比+0.5pt。
- みらい建設工業は前年同期比△0.8pt。
- 東興ジオテックは売上高および売上総利益額の増加により前年同期比+1.1pt。
- タカマツハウスは売上高および売上総利益額の大幅な増加により前年同期比+6.0ptと大幅に上昇。
- 連結合計は前年同期比+1.7ptとなった。



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

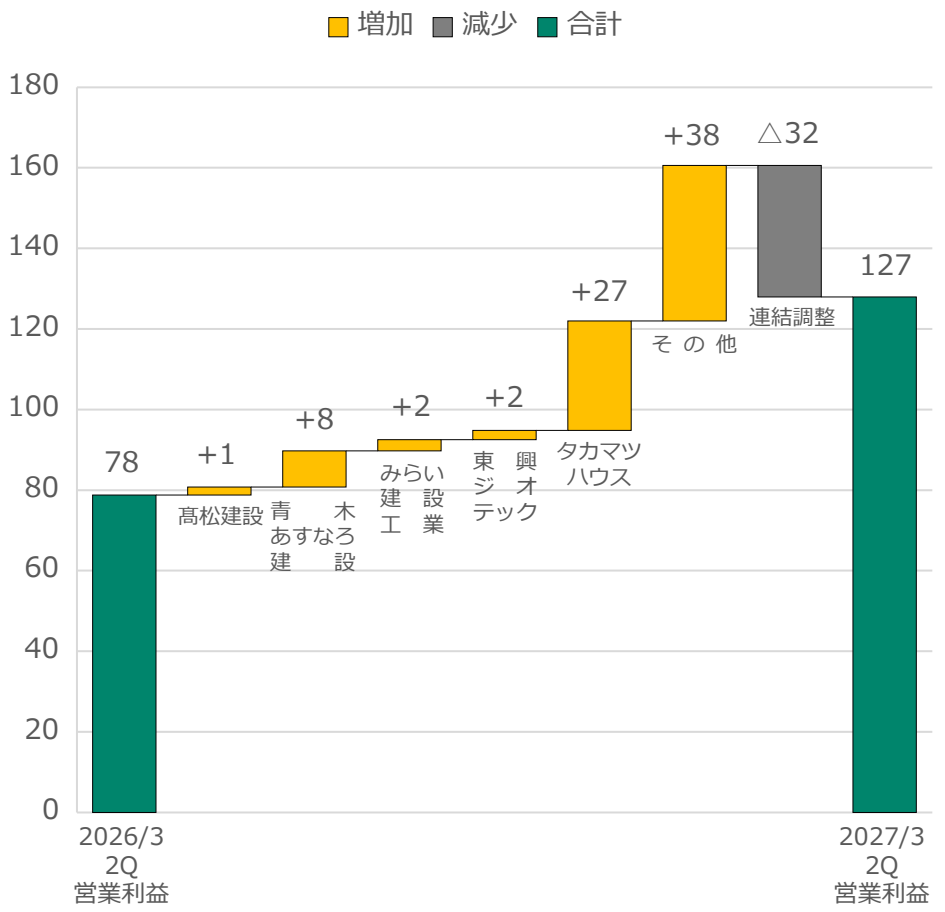
中核事業会社別 営業利益

◆ 髙松建設は好調を維持し前年同期比+4.6%。青木あすなろ建設は売上高および売上総利益額の増加と販管費の減少により前年同期比+41.4%と大幅増。みらい建設工業は主に売上高の大幅な増加により前年同期比2倍と大幅増。東興ジオテックは不調だった前年同期と比較して増加し前年同期比3.7倍と大幅増。タカマツハウスは売上総利益率の大幅な上昇により前年同期比4倍と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社は、主に当社髙松コンストラクショングループで第1四半期にグループ会社からの配当金が増加し前年同期比+76.4%。

（百万円）

会社別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
髙松建設（単体）	1,642	903	4,338	4,537
青木あすなろ建設（単体）	418	△692	2,171	3,070
みらい建設工業（単体）	220	261	271	545
東興ジオテック（単体）	491	491	85	319
タカマツハウス（単体）	596	573	898	3,608
その他グループ会社	5,578	6,187	5,062	8,927
連結調整	△5,606	△5,135	△4,946	△8,209
連結合計	3,339	2,588	7,879	12,797

（億円）



※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

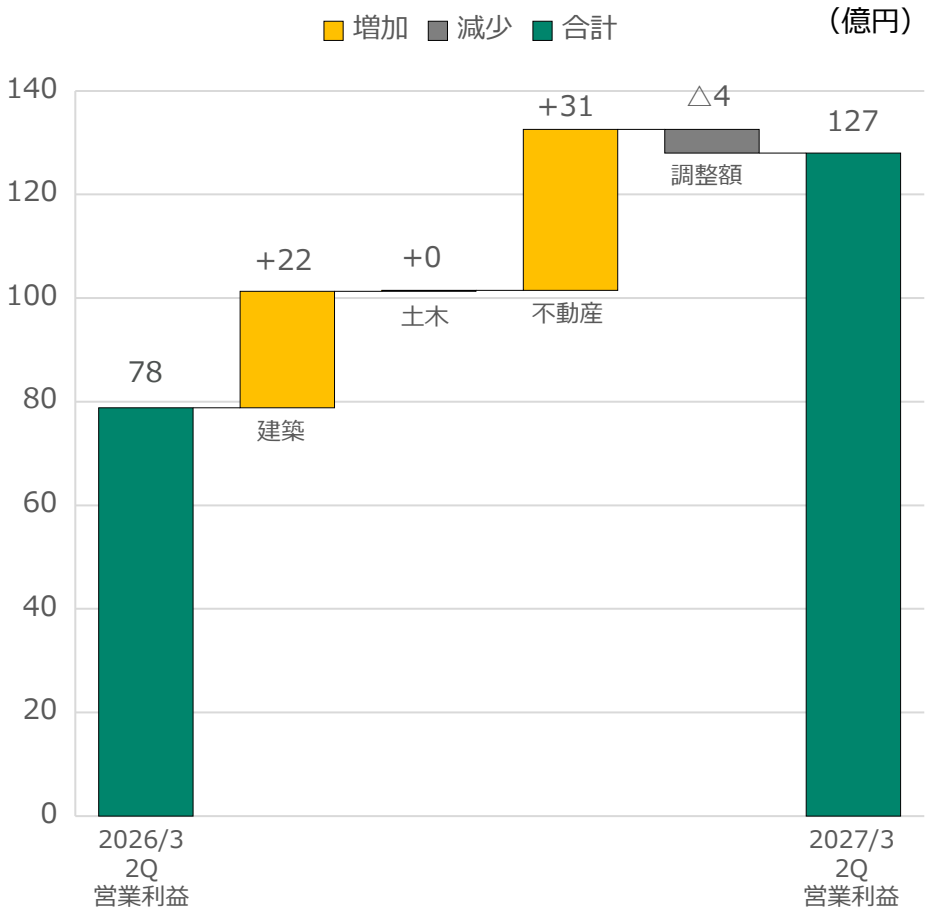
©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

セグメント別 営業利益

◆ 建築は主に青木あすなろ建設で増加し前年同期比+44.6%と大幅増。土木は前年同期比+0.7%。不動産はタカマツハウスで増加し前年同期比2.1倍と大幅増。

（百万円）

セグメント別	2024/3 2Q	2025/3 2Q	2026/3 2Q	2027/3 2Q
建築	1,330	124	5,040	7,289
土木	2,667	2,060	3,185	3,207
不動産	1,815	3,060	2,721	5,828
連結調整	△2,474	△2,657	△3,067	△3,528
連結合計	3,339	2,588	7,879	12,797

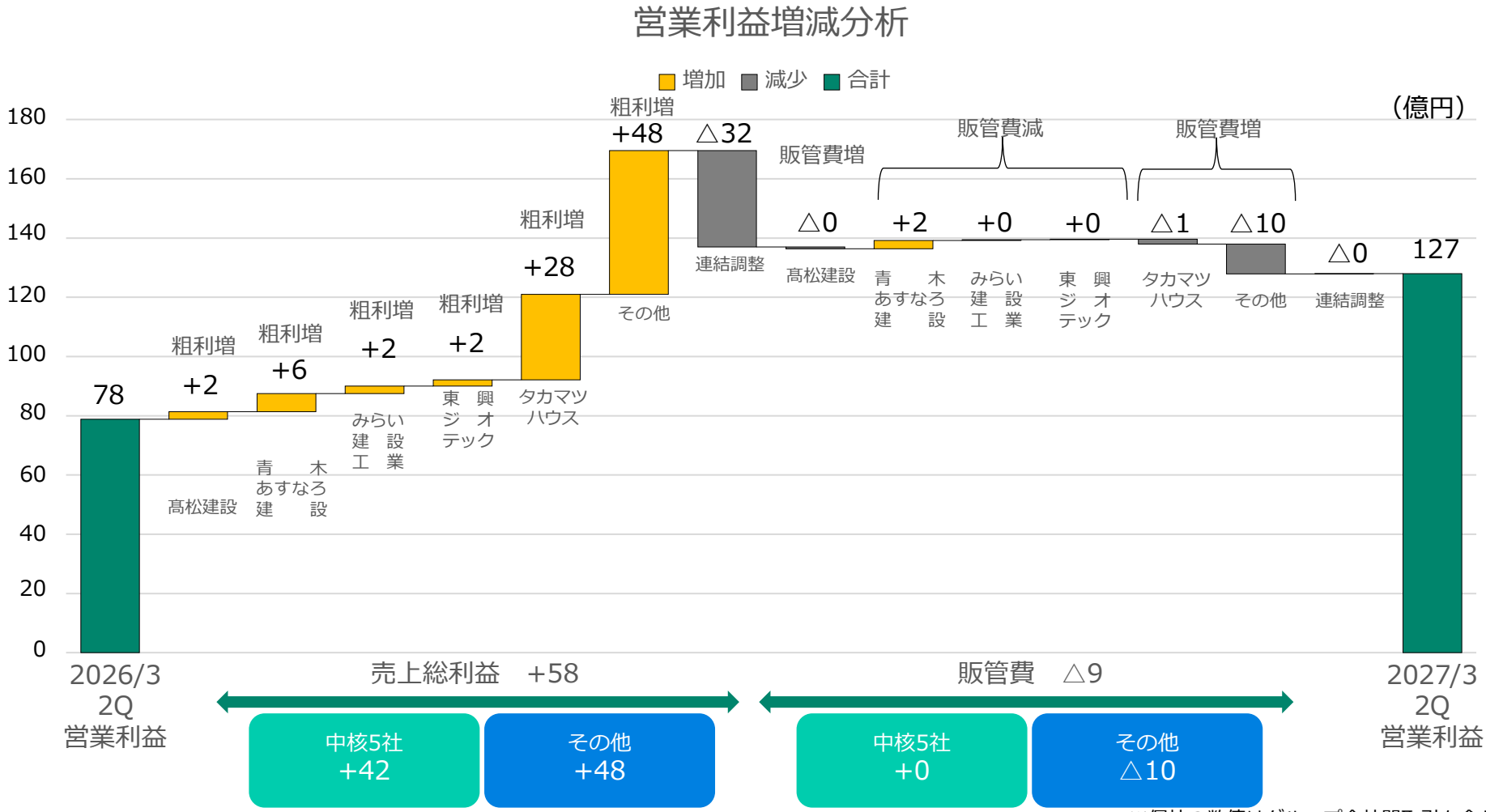


※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

売上総利益・販管費 営業利益増減分析

- 売上総利益は中核5社のうち特にタカマツハウスで増加し、前年同期比58億円の増加。
- 販管費は主にその他中核5社以外のグループ会社のうち当社髙松コンストラクショングループ、髙松都市開発で増加し、前年同期比9億円の増加。
- 営業利益は連結で前年同期比49億円の大幅増となった。

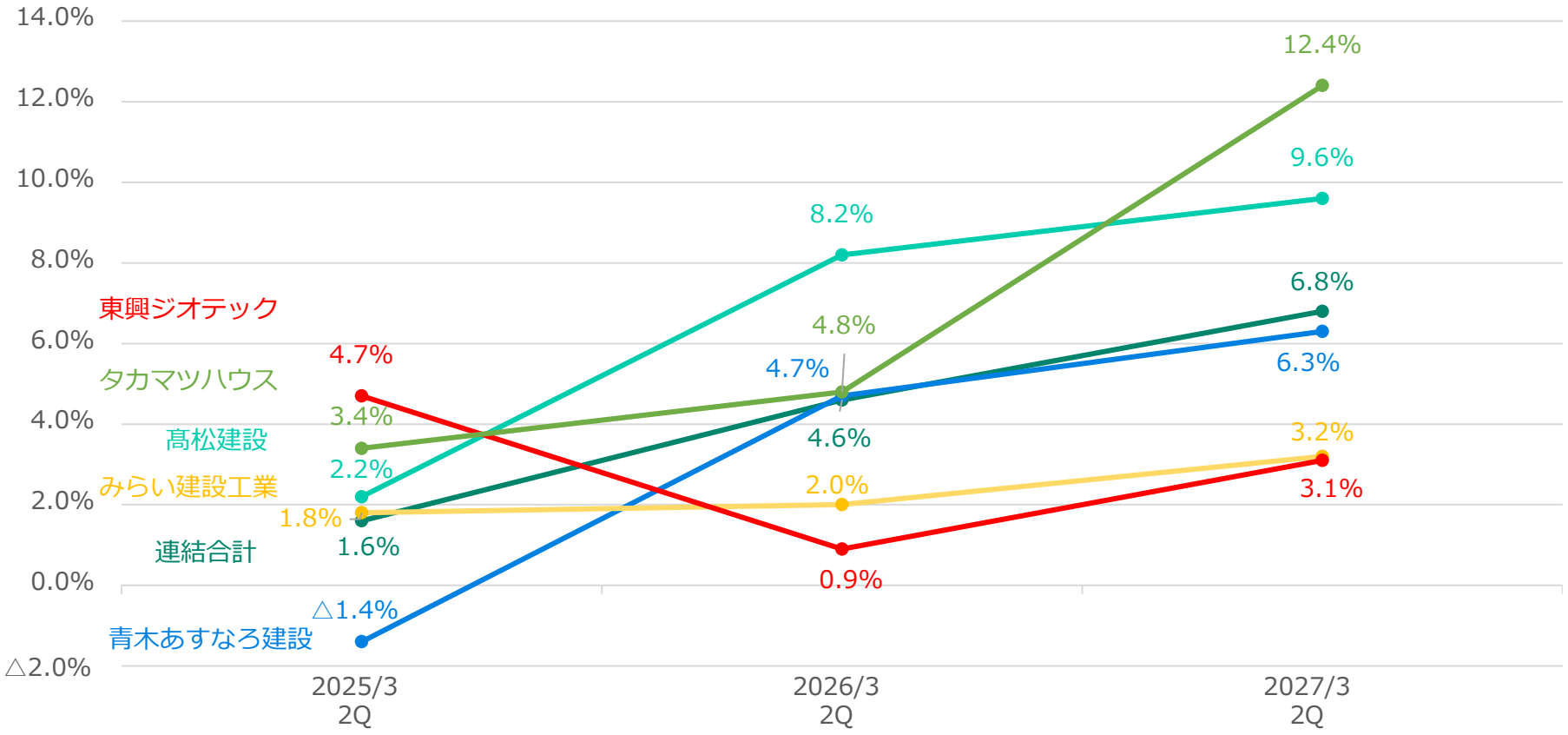


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

連結合計と中核5社の営業利益率

- 髙松建設は売上総利益率の上昇により前年同期比+1.4pt。
- 青木あすなろ建設は売上総利益率の上昇、販管費の減少による営業利益額の増加により前年同期比+1.6pt。
- みらい建設工業は売上高の増加と販管費の減少により前年同期比+1.2pt。
- 東興ジオテックは不調だった前年同期から回復し、前年同期比+2.2pt。
- タカマツハウスは売上総利益率の大幅な上昇により、前年同期比+7.6ptと大幅に上昇。
- 連結合計で前年同期比+2.2ptと上昇した。



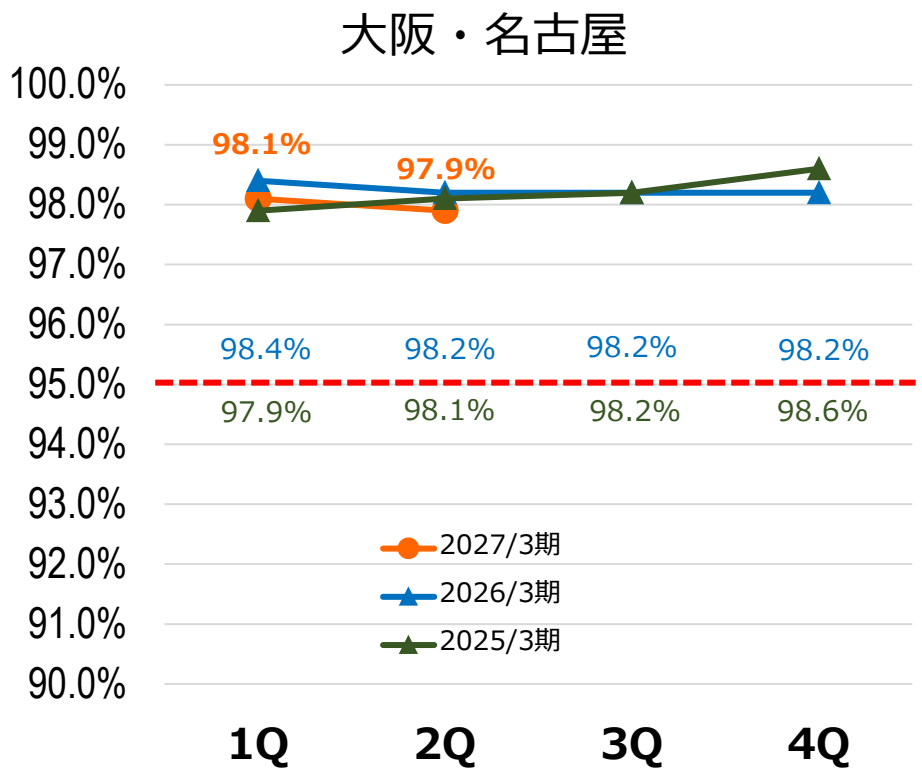
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

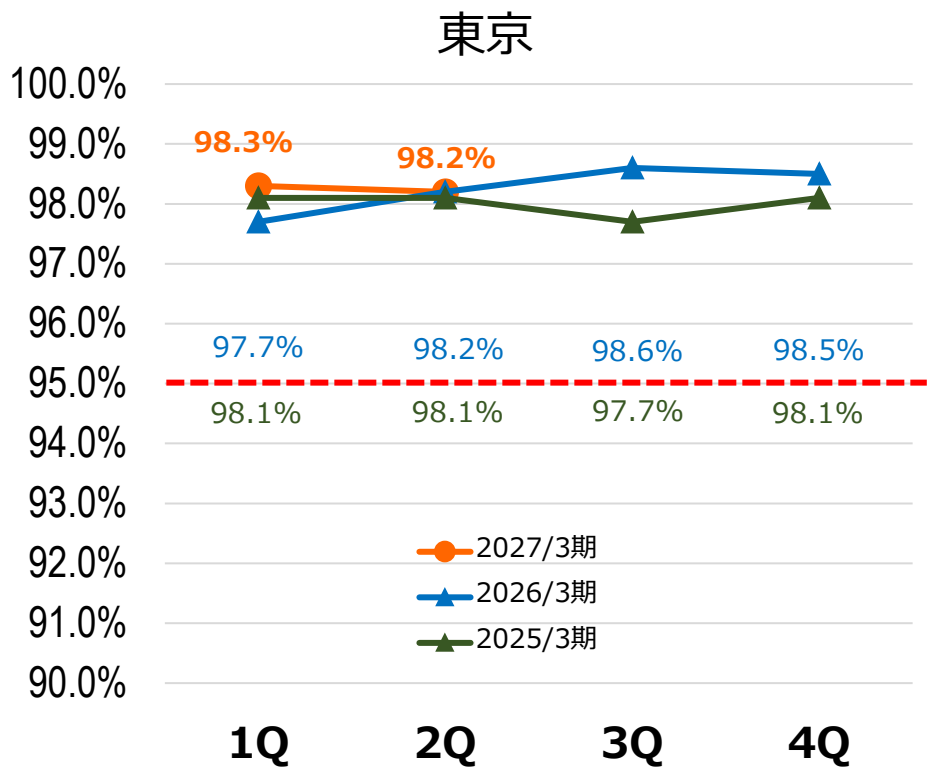
©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

◆ 入居率は27年3月期第2四半期も95%以上を維持。





定義：
「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市
「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
÷各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

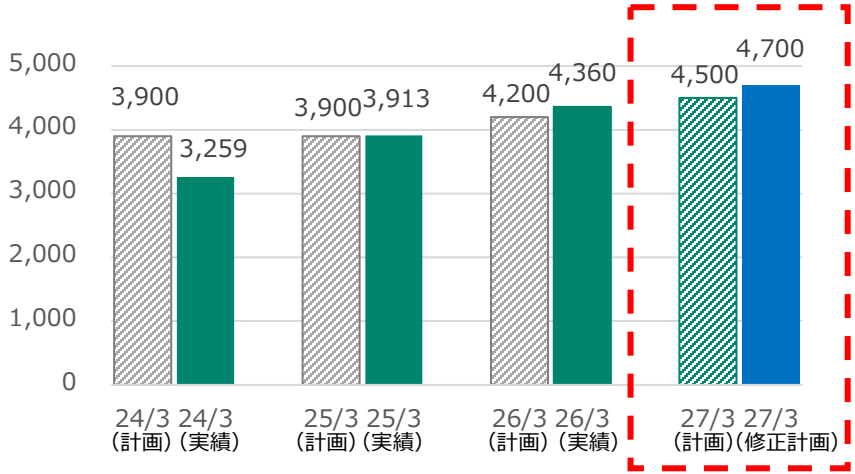
2027年3月期
業績予想・配当予想

2027年3月期 業績予想

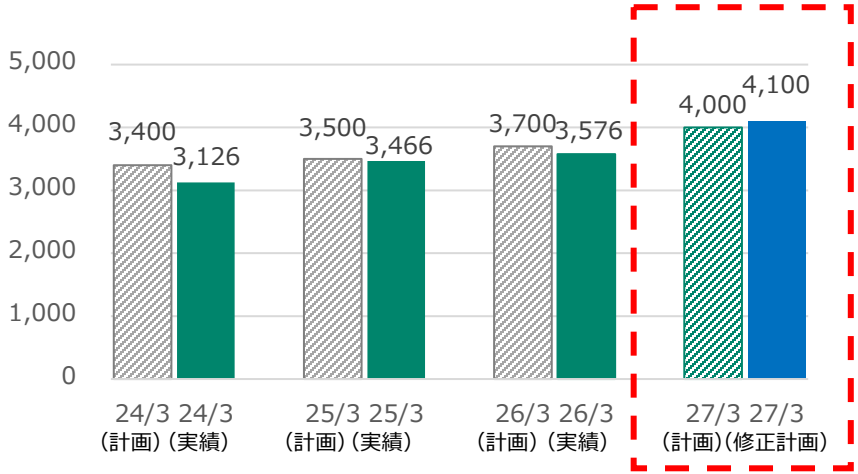
つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

- 2027年3月期第2四半期の実績を踏まえ、2027年3月期の業績予想を前回（5月13日）公表値から修正し、受注高+200億円、売上高+100億円、営業利益+40億円、当期純利益+25億円とした。
- なお、2028年3月期の計画については、現行の中期経営計画と今期の通期実績を踏まえ策定する。

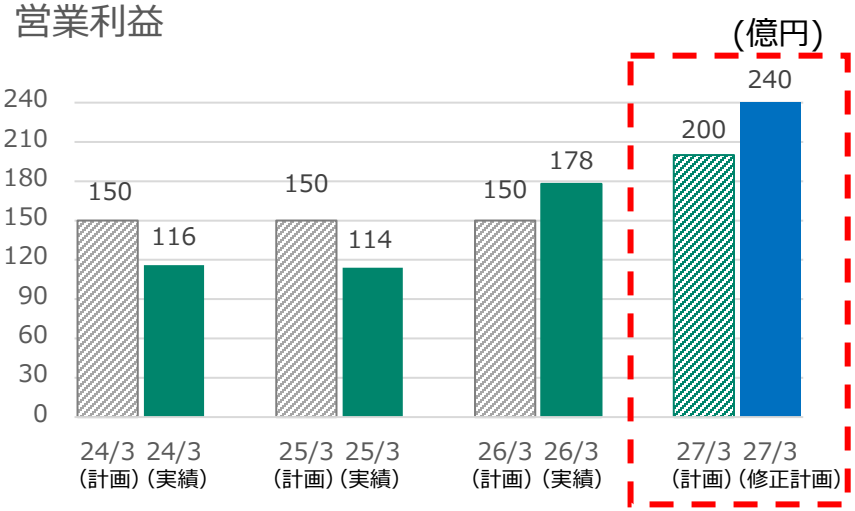
受注高



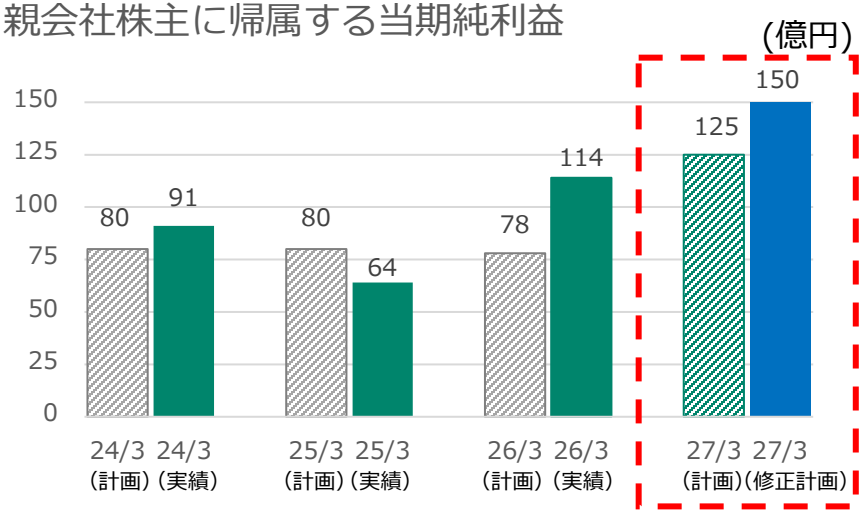
売上高



営業利益



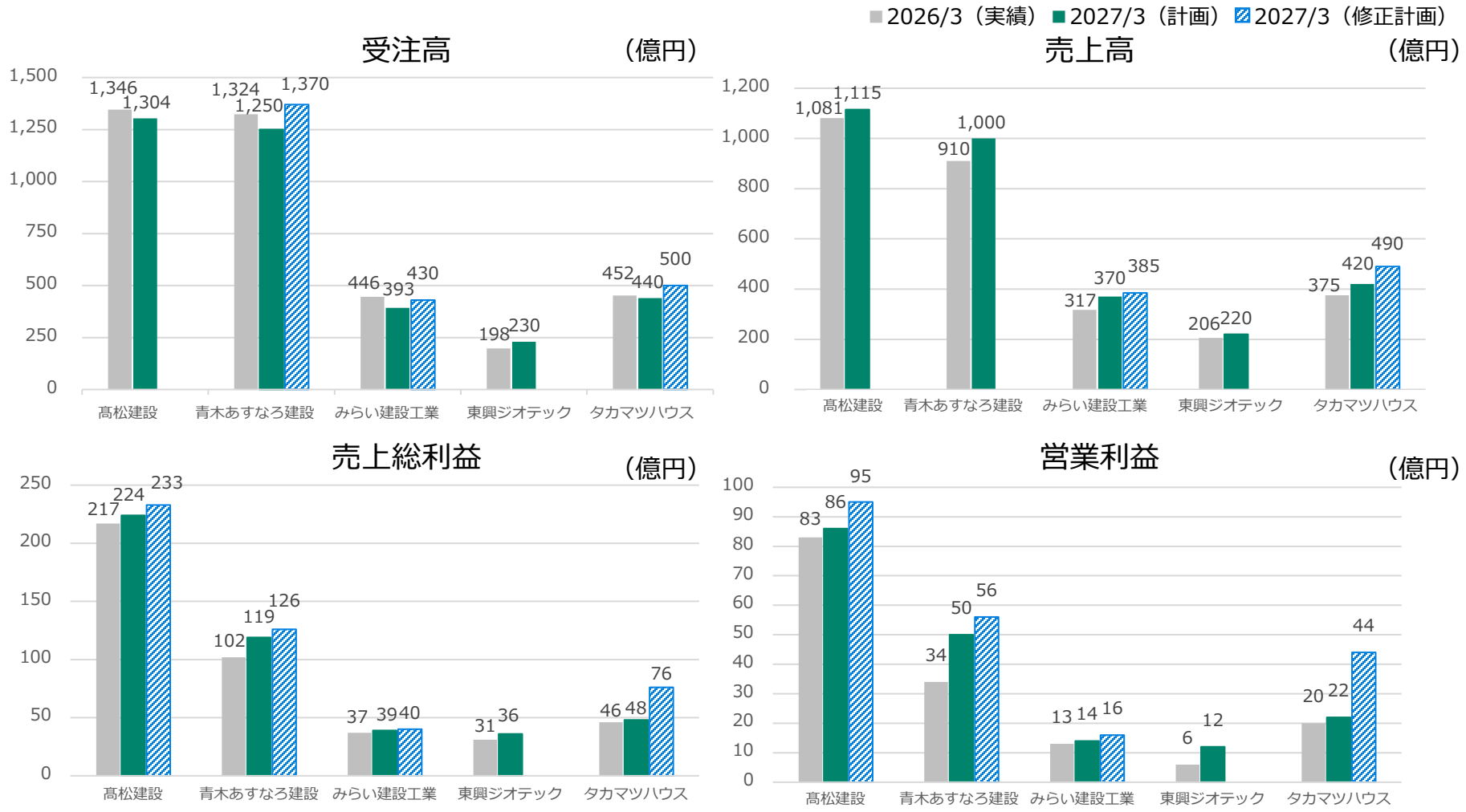
親会社株主に帰属する当期純利益



©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別2027年3月期経営計画3-1

◆ 前回（5月13日）公表値から一部の計画を上方修正。
◆ なお、2028年3月期の計画については、現行の中期経営計画と今期の通期実績を踏まえ策定する。

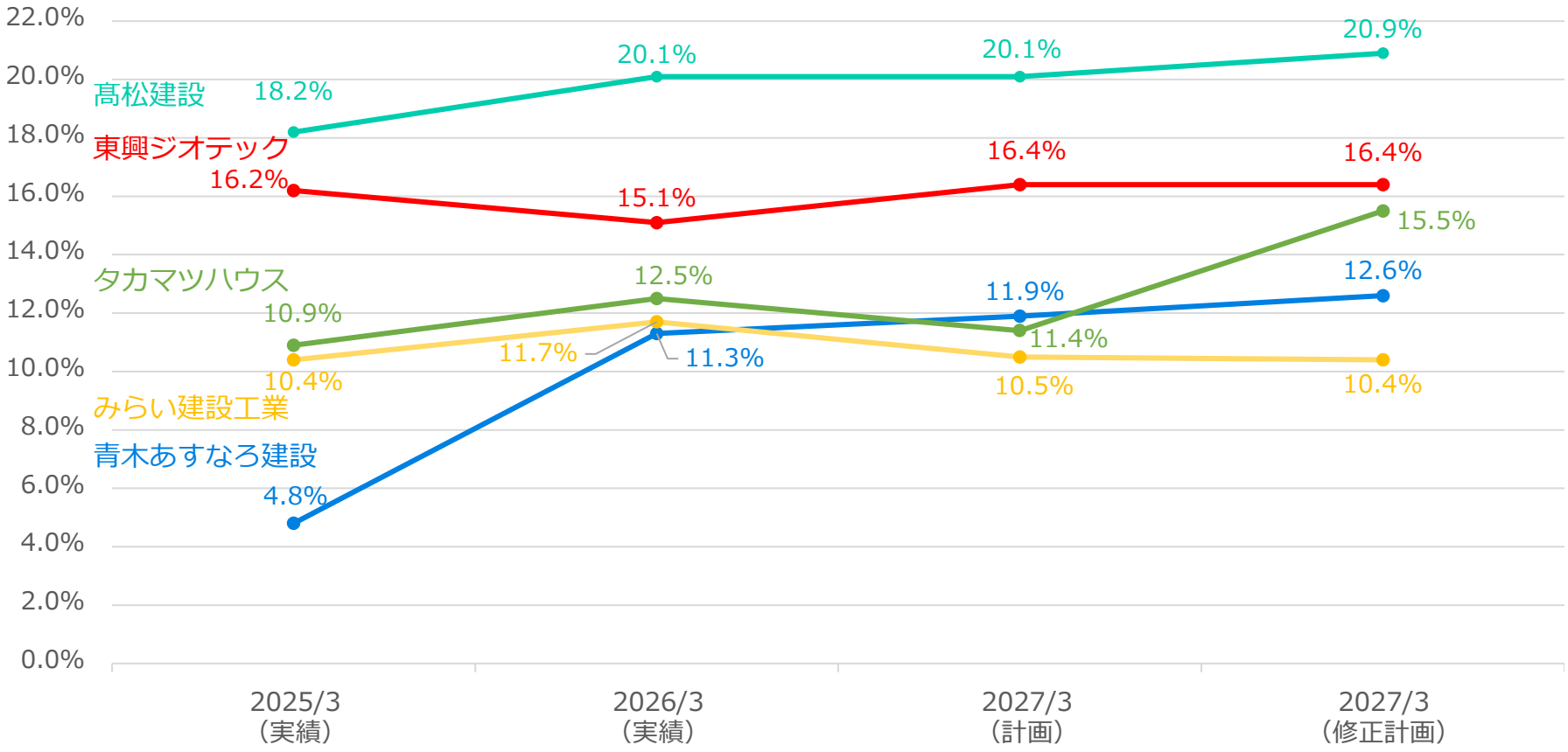


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別2027年3月期経営計画3-2

◆ 売上総利益率の2025年3月期および2026年3月期実績と2027年3月期の期初計画と修正計画。

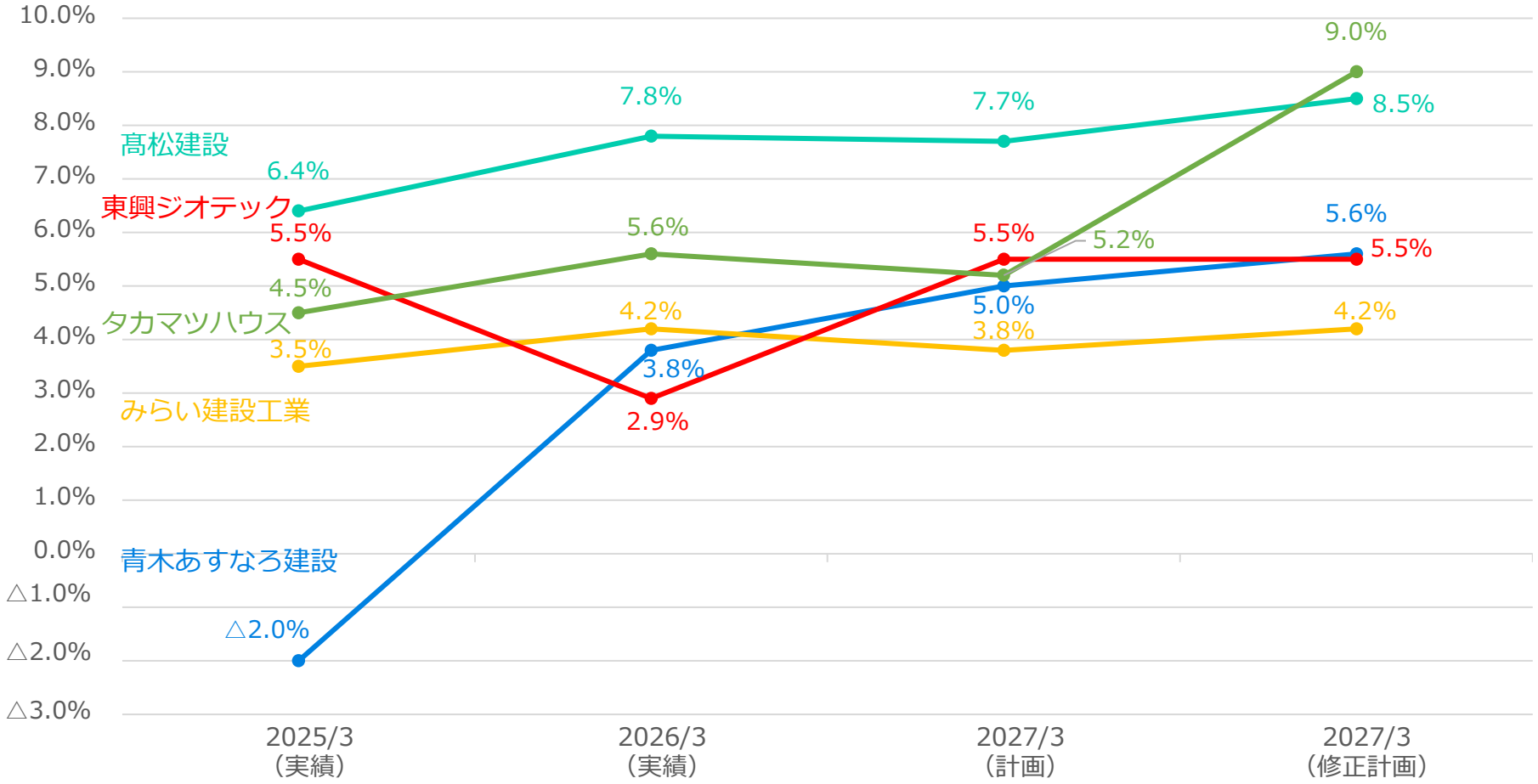


※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

中核事業会社別2027年3月期経営計画3-3

◆ 営業利益率の2025年3月期および2026年3月期実績と2027年3月期の期初計画と修正計画。



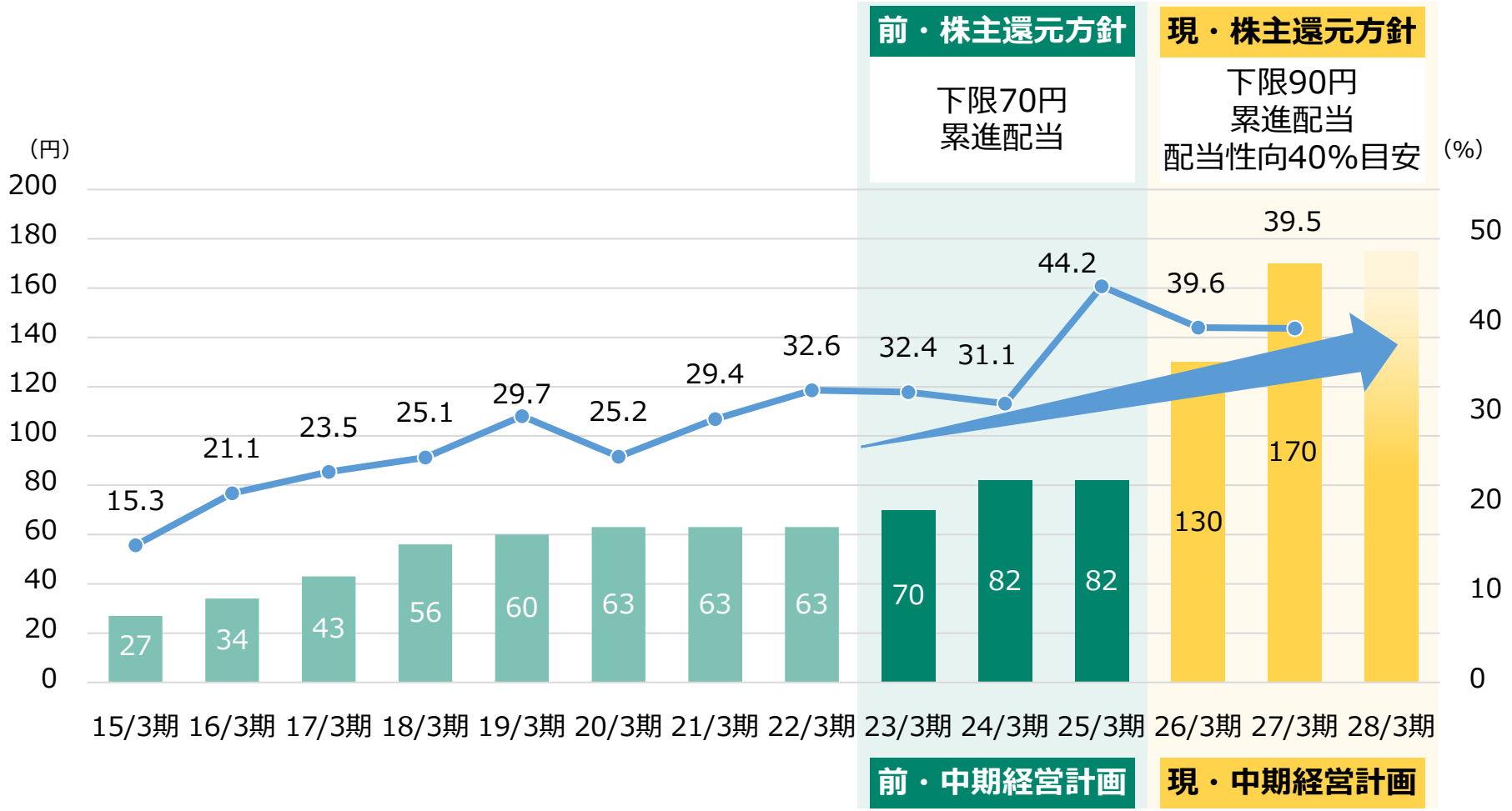
※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

2027年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

つながる力を、創り出す力に。
TAKAMATSU GROUP

- 中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の対象年度においては、**累進配当**を基本方針とし、年間の１株当たり配当金額の**下限を90円**に設定。
- **配当性向40%を目安**とし、業績に連動した利益還元をおこなう。
- 2027年3月期の配当金額は、**1株当たり170円**、**配当性向は39.5%**を予定。



©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

トピックス

◆髙松建設

■フィリピン事業本格始動～合弁会社設立

2026年5月に髙松建設の子会社として設立したフィリピンの現地法人「Takamatsu Philippine Corporation」は、8月にフィリピン国内で住宅・不動産開発を手掛ける総合デベロッパーの「Pueblo de Oro Development Corporation」と合弁会社を設立いたしました。本合弁会社による不動産開発事業を通じてフィリピンにおける事業基盤の確立を目指し、中長期的には髙松建設の強みを活かした建築事業のさらなる展開、ひいては持続的な事業成長と企業価値の向上を目指してまいります。



合弁会社名	Pueblo de Oro Takamatsu Development Corporation
設立年月日	2026年8月29日
所在地	17th Floor, Robinsons Summit Center, 6783 Ayala Avenue, 1226 Makati City, Philippines
代表	Rhoel Alberto B. Nolido
資本金	10,000,000フィリピンペソ
出資比率	Pueblo de Oro Development Corporation：66.6% Takamatsu Philippine Corporation：33.4%

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

◆青木あすなろ建設

■大型データセンター「（仮称）江東区千石三丁目計画新築工事」受注

当社グループは、中期経営計画における重点施策「事業成長に向けた新たな事業領域の開拓」に基づき、青木あすなろ建設の重点施策としてかねてより注力してまいりましたデータセンターの建設工事を受注いたしました。本案件は同社として4件目、都市型データセンターとしては初めての受注実績となります。今後もこうした社会・経済の変化に伴う多様な建設需要に応えるべく、グループ全体で取り組んでまいります。



（資料提供：せせらぎ特定目的会社）

名称	（仮称）江東区千石三丁目計画新築工事
所在地	東京都江東区千石3丁目2-19他
建物用途	データセンター
工期	2026年9月15日～2029年3月18日
発注者	せせらぎ特定目的会社 （JA三井リース建物・エンピリオンDCジャパン）
発注方式	分離発注方式 ・建築工事：青木あすなろ建設 ・機械設備工事：ダイダン ・電気設備工事：ミライト・ワン ・機器：専門ベンダー各社
設計・工事監理	サンケイビルテクノ
敷地面積	9478.42㎡
延床面積	22,639.27㎡
構造・規模	鉄骨造（免震）地上5階

©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

◆髙松コンストラクショングループ

■髙松グループ初のテレビCM「笑顔で見上げるものづくり」篇 全国放映

当社は、2026年10月に、当社グループがもつ多彩な強みを表現した新たなテレビCMを全国放映いたしました。本CMでは、2025年10月に制定したグループパーパス「つながりで響きあい、オンリーワンの価値を生み出す」のさらなる浸透やグループ全体の認知度向上、ひいてはその先にある事業成長を見据え、建築・土木・不動産と多様な事業領域をもつ当社グループならではの強みを活かした価値創造を、俳優の神尾楓珠さんを起用し、表現しています。今後も、当社グループがもつ「オンリーワンの価値」で未来を切り拓くグループへと、成長を続けてまいります。



©2026 TAKAMATSU CONSTRUCTION GROUP CO., LTD.

つながる力を、創り出す力に。

TakaMatsu GROUP

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。